

『規則正しい生活を送る』～学習習慣には課題も

09.10.16

(学習の基盤となる活動・習慣について)

(生活習慣)

図 1

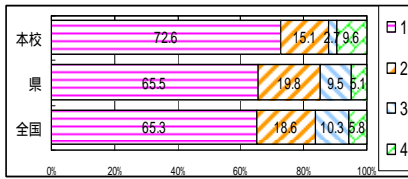


図 2

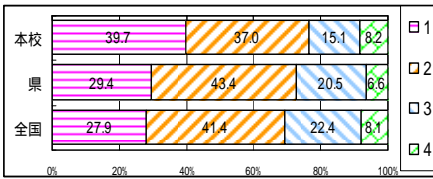
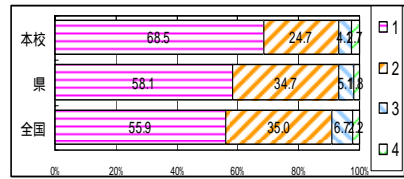


図 3



- ・学校に持って行くものを、前日かその日のうちに確かめている生徒が県を7%上回っている。しかしながら約10%の生徒が全くしていないと答えている。(図1)
  - ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていると答えた生徒が全国よりも10%程度上回っている。(図2)
  - ・毎日、同じくらいの時刻に起きている生徒も全国よりも13%程度上回っている。(図3)
- これらより、規則正しい生活を送ることができている生徒が多いことがわかる。しかし、家の人と学校での出来事について話す生徒の割合が50%を下回っていたり、家の手伝いをまったくしないと答える生徒の割合が県を9%上回ったりと、家庭での習慣において気になる点も見られた。

(学習習慣)

図 4

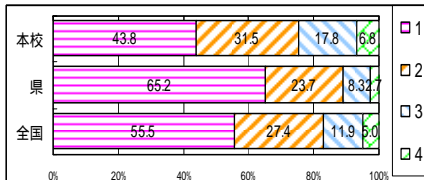


図 5

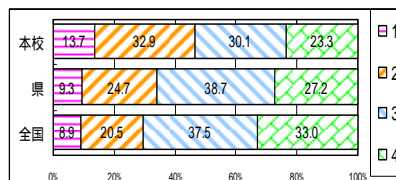


図 6

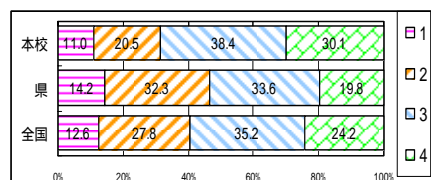


図 7

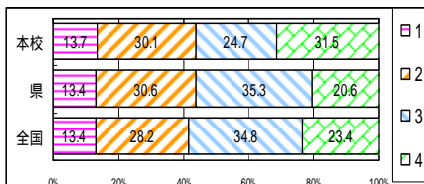
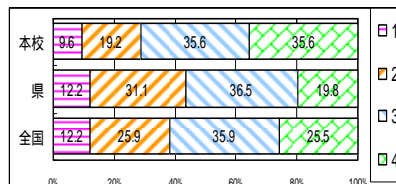


図 8



- ・家で学校の宿題をしている生徒が県に比べ、22%も下回っている。(図4) このことは授業における課題提出率の低さにもつながっていると考えられる。
- ・家で学校の授業の予習をしている、どちらかといえばしていると答えた生徒が45%程度おり、全国と比べても15%上回っている。まったくしていない生徒も全国を10%下回っており、授業に予習をして臨む生徒が多いことがわかる。(図5)
- ・しかし、家で学校の授業の復習をしている、どちらかといえばしていると答えた生徒が県に比べると約15%下回っており、予習はできているが復習が不十分であることが学力と密接な関係にあることがわかる。(図6)
- ・家で苦手な教科の学習をしていないと答える生徒も県を10%下回り(図7)、家でテストで間違えた問題について、間違えたところを後で勉強している生徒が少ないことが結果からわかる。(図8)

(言語活動・読解力)

図 9

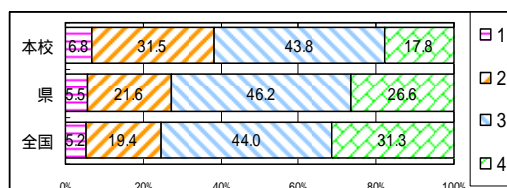
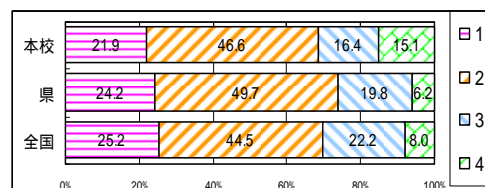


図 10



- ・普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると答えた生徒の割合が高く、あてはまらないと答えた生徒も全国を14%も下回っている。(図9)
- ・普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思わないと答える生徒の割合が高く、

県を9%上回る結果であった。(図10)

(規範意識・自尊感情)

(規範意識)

図11

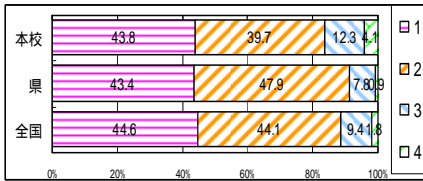


図12

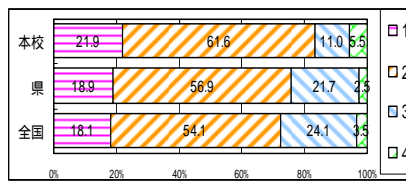
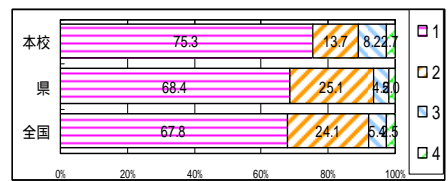


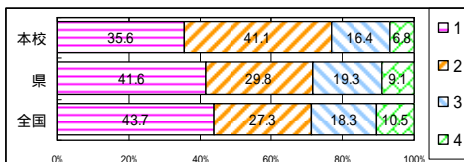
図13



- ・学校の規則を守っていない、どちらかというとなっていないと答える生徒の割合が高く、県を8%上回る結果であった。(図11)
- ・人が困っているときは、進んで助けている、どちらかというとなっていると答えた生徒の割合が、全国を10%上回る結果であった。(図12)
- ・人の気持ちに分かる人間になりたいと思う生徒の割合が高く、県を7%上回る結果であった。(図13) これらより、規則を守れない部分があるものの、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う生徒が70%を超えたり、進んであいさつをする生徒が全国を上回ったりする結果に反映されていると考えられる。

(自尊感情)

図14



- ・将来の夢や目標を持っていると答えた生徒の割合が全国に対して下回り、はっきりとした夢や目標を持たずにいることがうかがえる。このことはどちらかといえばあてはまると答えた生徒が全体の40%を超えることから裏付けられる。(図14)

(学習に対する関心・意欲・態度)

図15

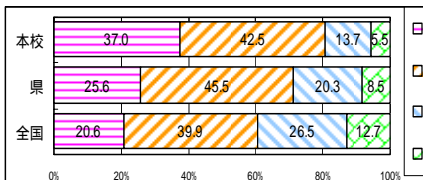
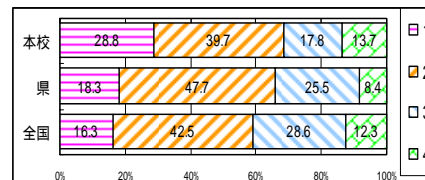


図16



- ・「総合的な学習の時間」の勉強は好きと答える生徒の割合が高く、全国を約30%上回った。(図15) また「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思う生徒の割合も全国を10%上回り、生徒にとっては「総合的な学習の時間」が有意義な活動になっていることがうかがえる。(図16)

図17

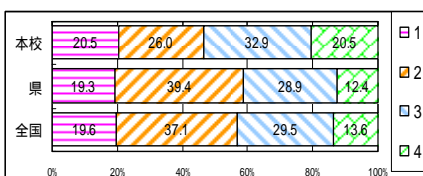
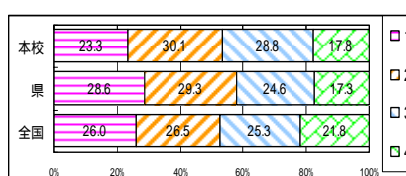


図18



- ・しかしながら、教科の勉強に関しては、国語・数学の両教科において勉強が好きではないと思う生徒の割合が県と比べても高かった。(図17・図18) 授業の内容がよく分からないと答える生徒の割合も高い結果であった。(国語...県を12%上回る, 数学...県を5%上回る) 社会に出たときに役に立つと思わない生徒の割合が高く表れたことも関連していると考えられる。(国語...県を8%上回る, 数学...県を10%上回る) この結果に反するようであるが、1日当たり2時間以上読書をする生徒の割合がやや高く、全くしないと答えた生徒は全国よりも20%以上も下回る結果となっている。学校図書館や地域の図書館へ週に1回以上行くと答える生徒が全国に比べ、26%も多く、読書には熱心に取り組んでいる姿がうかがえる。「学び合い」授業や生徒指導の3機能を活かした金泉授業を行い、興味や関心を持って学習に取り組めるように授業改善を行いたい。また復習を中心とした家庭学習習慣の定着を目指した工夫も必要である。